

## まとめると

核抑止力が必要か否かに関わらず、民間防衛がよって立つところは変わりません。放射性降下物は中立国など気にしません。英国が参戦していなくても、海のかなたの核爆発による放射性降下物を阻止するのは、潮の干満を止めようとするようなもので、不可能です。それが理由で、中立国として長い伝統を持つスイスやスウェーデンが最も民間防衛に注意を払っているのです。

民間防衛は常識です。

# 民間防衛 なぜ必要か

## さらなる情報

核兵器	英国印刷庁 £3.50
防護と生存	英国印刷庁 50p
家庭用核シェルター	英国印刷庁 50p
家庭用核シェルター技術ガイド	英国印刷庁 £5.50

英国内務省のために中央情報局が作成 1981年  
英国印刷庁のためColibri Press Ltd..が英国国内で印刷  
Dd 8295161 Pro 17329  
First published November 1981



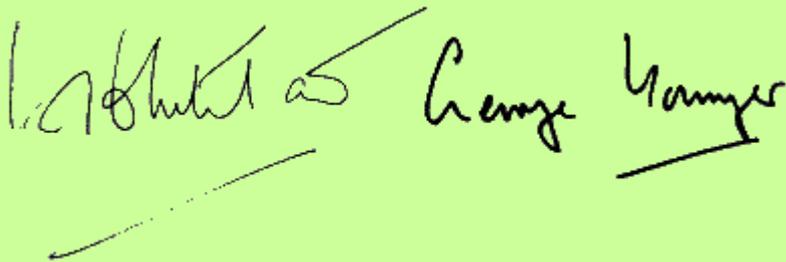


## 英国内務大臣と スコットランド大臣からのメッセージ

我が国と同盟国は30年以上にわたり、潜在的侵略者に対する抑止力によって戦争の回避に努めてきました。我々が使うべき手段について反対している人もいます。しかし、我々が取るべき手段についても見方が違っていても、我が国が攻撃を受ければ、民間人を守る必要が、そして守る義務があり、したがってその準備が必要なことを、誰もが認めなければなりません。

政府は英国の民間防衛を推進することを決定しました。民間防衛の機能は戦争を助長するものでも、戦争を容認するものでもありません。民間防衛は私たちが否応なく生きていかなければならない現実に適応し、戦争が起きた場合に被る被害を軽減するための準備をするためのものです。

民間防衛の目的と効果が基本的に人道的なものであるため、一方的な軍縮の支持者であっても、矛盾することなく、民間防衛を支持できます。

  
George Younger

### なぜ民間防衛にこだわるのか？

なぜ自動車に乗ったらシートベルトを着けるのでしょうか？ シートベルト着用により、交通事故のときに重傷になる可能性を減らせるからです。同じことが平時の民間防衛にも言えます。

戦争は恐ろしいものです。誰もが戦争によって起きる破壊と苦しみを知っています。しかし、戦争の可能性のある限り、それがどんなに小さくても、核攻撃であれ通常攻撃であれ、攻撃の犠牲者を助ける準備をすることは正しいのです。

### しかし、核兵器と大量破壊の時代に、民間防衛はお金の無駄ではないのか？

いいえ。自分自身と家族をどうやって守るかを示すことは、正しいお金の使い方です。

### しかし、核攻撃から身を守る手段などないのではないのか？

特に放射線に対する安全対策により、数百万人の生命を救うことができます。しかし、民間防衛は核攻撃からの防護ではありません。あらゆる種類の攻撃からの防護でもあります。NATOの専門家は、英国が巻き込まれる戦争は少なくとも最初は通常兵器の使用によって始まると考えています。実際のところ、信頼できる抑止力を維持する限り、戦争は起きるとは考えにくく、核戦争の可能性は通常兵器による戦争よりも可能性が小さいと考えられます。

### しかし、民間防衛によって国民が好戦的になり、紛争のリスクが高まるのではないのか？

それは、シートベルトを着用する人々の方が、しない人々よりも交通事故を起こしやすいと言っているのと同じことです。民間防衛を真剣に考えることは、我が国への攻撃による大惨事での犠牲者の生命を救おうとすること意味します。

戦争の脅威が迫ったとき、何をすればいいか、どうやって知ればよいか？

警報システムおよび防護手段についての国民への完全な助言は、出版物および放送により適時、実施されます。戦時放送により、公共情報が事実上ノーストップで放送されます。ですので、ラジオを聞いてください。

新聞やテレビやラジオで、あなたと家族を自宅で防護する方法についての助言を放送します。

政府は国民へのシェルター提供を行うべきではないのか？先の戦争では何らかのシェルターが全世帯に提供されたではないか。

現在の戦争のリスクは非常に小さいので、我が国の全世帯にシェルターを提供するための政府支出は正当化できません。それには何十億ポンドもかかります。実際のところは、1983/1984年までに、民間防衛にはこれまでよりも多くの4500万ポンドを支出します。これは、NATOが継続している抑止政策が失敗した場合の確率の小さいリスクに対するリスクプレミアム（保険料）です。30年以上にわたって、この抑止政策により、欧州では戦争は起きていません。

自助シェルターについてのさらなる情報は随時公開されます。地方自治体は地域に適した共同戦時シェルターの調査の実施を求められています。

しかし、少数の特権者たちを守るための地下深いバンカーについて聞いたことがあるが？

大半の上級閣僚と政府高官と部局長は戦争の危機が迫ったとき、自分のデスクにとどまらなければなりません。英国が攻撃を受けた場合、生き残れる可能性は他の皆さんと違いはありません。しかし、地域民間防衛を委任する政府計画があります。攻撃後に政府機能を維持するために、幾人かの閣僚が少数のスタッフとともに戦争対策本部に移ります。これらの戦争対策本部は強化されていますが、不死身ではありません。戦時の民間防衛の運用の大半は、市庁舎等の地下室に置かれた地方自治体当局者によってなされます。

なぜ、かつての民間防衛隊を復活させないのか？

正しい支援活動には、赤十字や聖ジョン救急機構および聖ジョン救急機構や英国婦人ボランティア協会や特別警察のような既存団体を通じるなど、他の方法でも参加できます。これらは、私たちみんなのために、いつでも役に立ちます。これらの公共心の高いボランティアグループとともに、地域のボランティア科学アドバイザーや英国防空監視隊を含む英国警報監視機構(UKWMO)は既に、専門の危機管理機関のバックアップをしています。民間防衛における自主的努力を促進するために、イングランドおよびウェールズ担当国家調整官およびスコットランド担当国家調整官が任命されています。民間防衛に協力いただける方は、地域のボランティア団体か、市民相談局もしくは地方自治体に問い合わせてください。